

# 野研びより

鳥編

野外生物生態調査研究部

2018年6月



図1. コウライキジ オス  
(2018年5月 学園木花台)



図2. コウライキジ オス  
(2018年5月 学園木花台)

## コウライキジ

学名：*Phasianus colchicus karpowi*

分類群：鳥綱 キジ目 キジ科

全長：オス 約85cm メス 約50cm

コウライキジの名前の由来は高麗(朝鮮)のキジ<sup>①)</sup>という意味。

## [色]

- オスの顔は真っ赤で、首には白い輪があり胸から腹は褐色<sup>②)</sup>で斑点模様がみられます。
- メスは地味な茶色で全身に斑点模様があります。

## [分布]

- 江戸時代に長崎県の対馬、また近年では北海道で放鳥され、生息しています。<sup>③)</sup>  
本亜種はユーラシア大陸で生息しています。
- 平地から山地の草原や農耕地などを生息場所としています。
- 野研の調査での発見時はビニールハウスの中で、落ちたトマトをつついで食べているところでした。また時折、「ケーンケーン」と鳴いて羽を広げバサバサとあおいでいました。

## 参考文献

- 繁殖期のコウライキジ 動物 鳥類の写真 GANREF  
[https://ganref.jp/m/inpute/portfolios/photo\\_detail/01acb1395e1eba6a572df031d33ab9d5](https://ganref.jp/m/inpute/portfolios/photo_detail/01acb1395e1eba6a572df031d33ab9d5)
- 日本の鳥 550 山野の鳥 文一総合出版
- 日本野鳥大鑑 鳴き声 420 小学館